

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2022年6月30日

(宛先) 松本市長 臥雲 義尚 様

提出者

住所 長野県松本市双葉12-63

氏名 ゴールドパック株式会社 松本工場

取締役 生産本部長 宇治 俊雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0263-25-3415

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ゴールドパック株式会社 松本工場
事業場の所在地	長野県松本市双葉12-63
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	飲料・たばこ・飲料製造業・清涼飲料製造業 1101
② 事業の規模	107億
③ 従業員数	253名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙のとおり (図1, 2, 3, 4, 5)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり (図6)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏、ばね等)
	排出量	1,074.74t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	排出量	34.51t	371.36t				
(これまでに実施した取組) 当社松本工場は、生産量の増減や生產品目により廃棄物の排出量も増減している。そのため排出量の抑制はなかなか困難である。							
①現状	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	排出量	1,021.00t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	排出量	32.79t	352.79t				
(今後実施する予定の取組) 今後においても生産量の増減及び生產品目により廃棄物の排出量も増減するものと思われるが、生産性の効率化による廃棄物の排出抑制を図って行きたい。また、購入する資材・原料の簡易包装化や繰り返し使用できる(リターナブル)包装容器の調達等を進めていきたい。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している廃棄物の種類は図1を参照。各工程から排出される廃棄物を分別解説書を基に分別を行い、廃棄物回収ステーションの所定の場所に投棄を行うようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分別に関する指導を徹底し、廃棄物の再資源化、有価物化をより一層推進していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 3年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	341.08t					
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 当社では、脱水した汚泥を肥料として登録、販売し再利用している。							
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	324.03t					
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 今年度も、脱水した人参粕、野菜粕、果実粕を飼料として登録、販売することを計画している。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 3年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	179.12t					
産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 工場内排水を脱水して汚泥を搾り廃棄量を削減。							
【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	170.17t					
産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 工場内排水を脱水して汚泥を搾り廃棄量を削減。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
該当事項はありません。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
該当事項はありません。							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)
	全処理委託量	554.54t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t
	優良認定処理業者への処理委託量	98.57t	0.27t		163.04t	1.72t	
	再生利用業者への処理委託量	554.54t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	全処理委託量	34.51t	371.36t				
	優良認定処理業者への処理委託量	2.19t					
	再生利用業者への処理委託量	34.51t	371.36t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						
	これまで当社では再生利用の推進を目的に、再生利用のできる業者を中心に委託してきた。						

【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)
②計画	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	526.80t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t
	優良認定処理業者への処理委託量	93.64t	0.26t		154.90t	1.63t	
	再生利用業者への処理委託量	526.80t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ				
	全処理委託量	32.79t	352.79t				
	優良認定処理業者への処理委託量	2.08t					
	再生利用業者への処理委託量	32.79t	352.79t				
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
(今後実施する予定の取組) 今後も再生利用の可能な業者を中心に委託していくが、あわせて優良認定処理業者への委託を行っていきたい。							
※事務処理欄							

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が13以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)											合 計		
		汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	廃油	廃酸	廃プラスチック(廃 タイヤ、 発泡スチ ロール)	金属くず	ガラス・ コンク リート・ 陶磁器く ず	木くず	動植物性 残さ						
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	1,074.74t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t	34.51t	371.36t					1,692.23t	
	本年度排出量(計画)	1,021.00t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t	32.79t	352.79t					1,607.62t	
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績	341.08t												341.08t	
	本年度計画(目標)	324.03t												324.03t	
自ら行う(行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績	179.12t												179.12t
		本年度計画(目標)	170.17t												170.17t
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績														
	本年度計画(目標)														
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	554.54t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t	34.51t	371.36t				1,172.03t	
		本年度計画(目標)	526.80t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t	32.79t	352.79t				1,113.42t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	98.57t	0.27t		163.04t	1.72t		2.19t					265.79t	
		本年度計画(目標)	93.64t	0.26t		154.90t	1.63t		2.08t					252.51t	
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	554.54t	0.27t	38.54t	169.82t	1.72t	1.27t	34.51t	371.36t				1,172.03t	
		本年度計画(目標)	526.80t	0.26t	36.61t	161.33t	1.63t	1.21t	32.79t	352.79t				1,113.42t	
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績													
		本年度計画(目標)													

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。

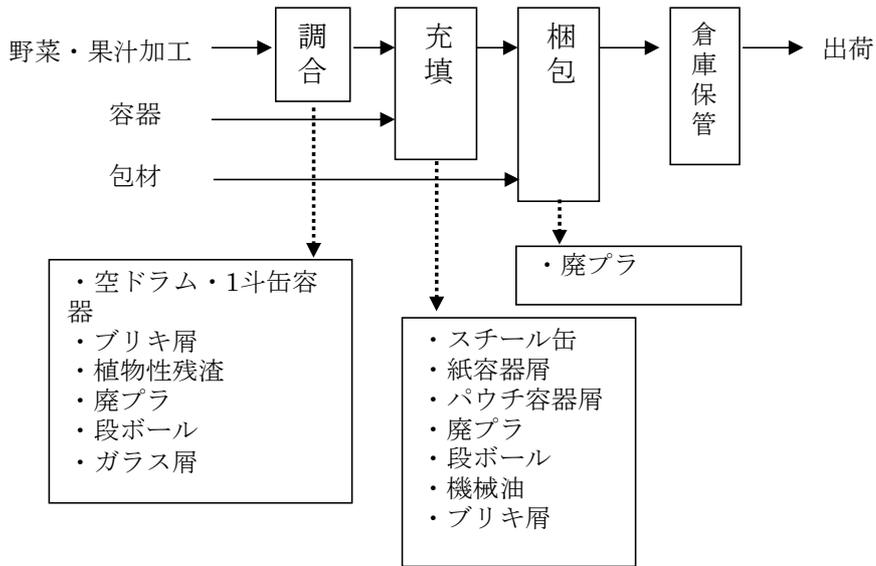


図1 ジュース製品製造フローシート

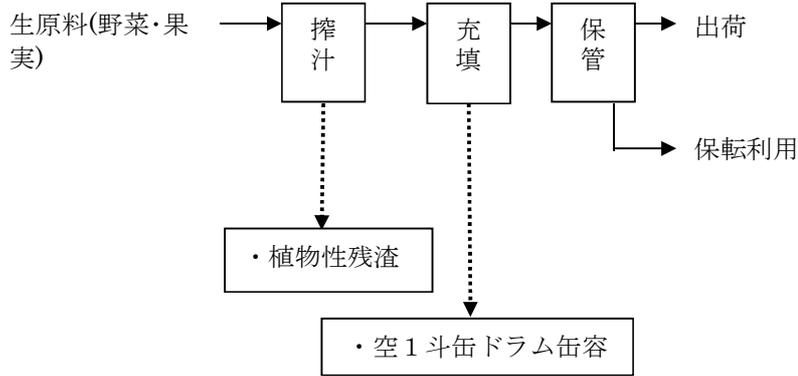


図2 搾汁製品製造ラインフローシート

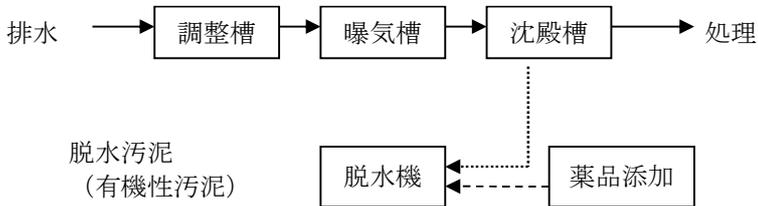
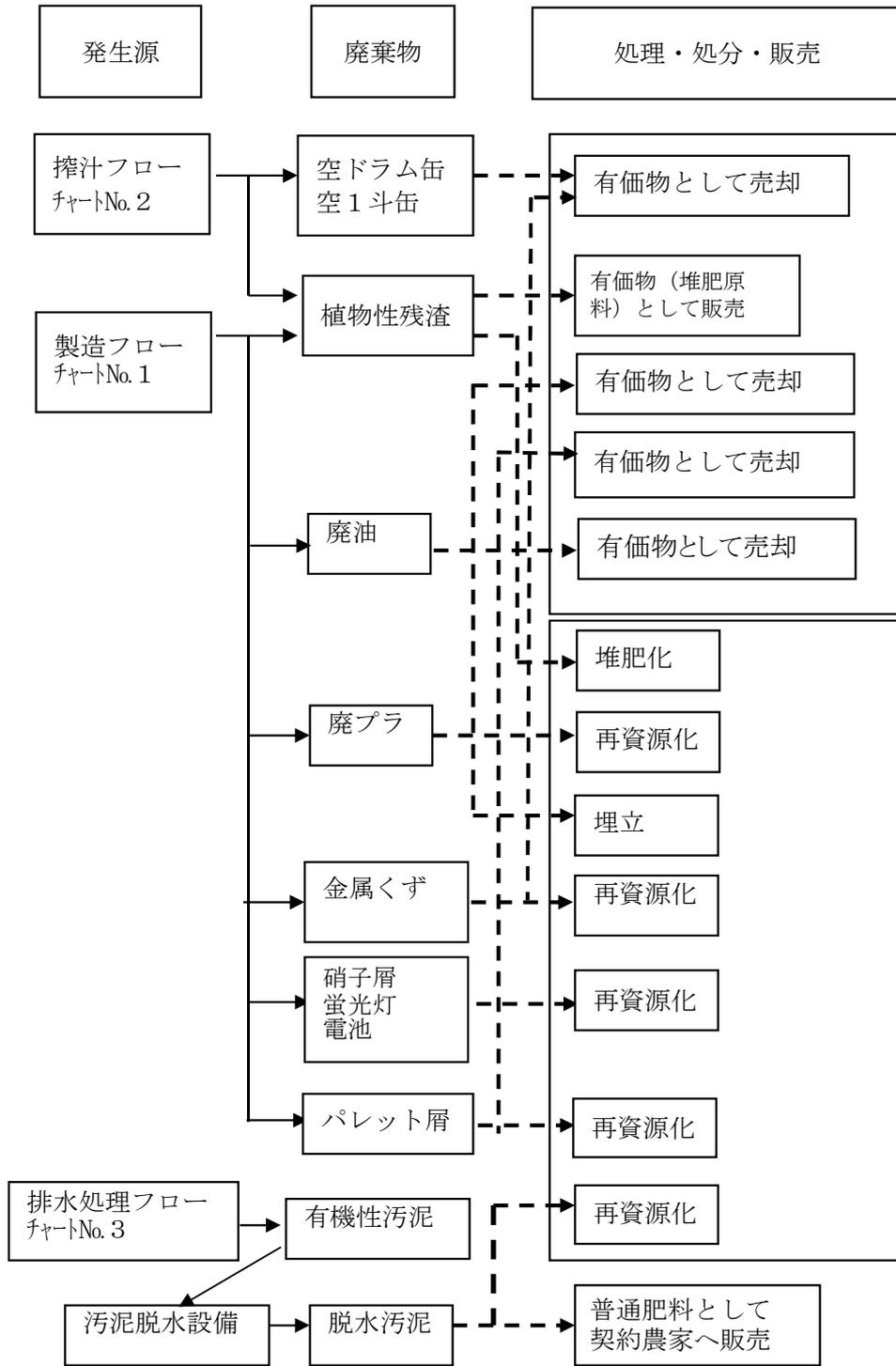


図3 排水処理フローシート



図4 用水浄化フローシート



←業者へ販売

←産業廃棄物処理業者にて委託処

図5 廃棄物処理フロー図 現状

ゴールドパック株式会社松本工場 廃棄物管理組織

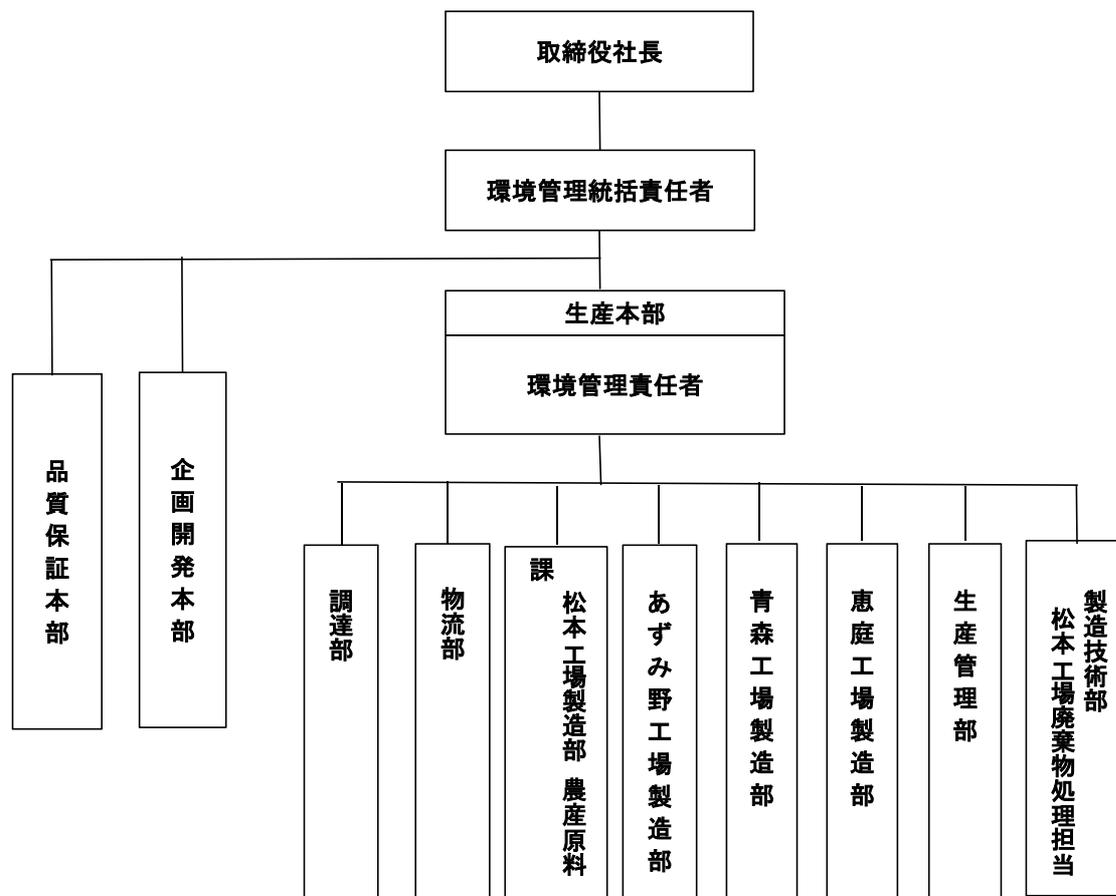


図 6